



ずっと一緒にいたい、ただそれだけのこと…

ろう者の監督が描く、全編手話で綴られた、ろう者×LGBTQの心温まる物語

ありのままの自分でいたい。ありのままに生きていたい ——

群馬の手話サークルで知り合ったろう者の華とあゆみ。華は初めて同性に惹かれ戸惑うも、あゆみと交際することになる。後日、華は実家へ帰り、両親にあゆみとの交際について話すと、いつでも味方だった母親から拒絶されてしまう。母親の態度に華はショックを受けるが、あゆみとの関係を断ち切ることがどうしてもできない。苦しんでいる華を見かねたあゆみは、東京で開かれる“ろう者のLGBTQイベント”に華を誘う。そこには、悩みを抱えつつも前向きに生きる、ろうのLGBTQの人たちが集っていた。それぞれが今まで乗り越えて来た苦難を聞くうちに、初めは緊張していたふたりも、次第に心を開いていく…



悩んでも苦しんでも、誰にも素敵な朝がやって来ると信じて ——

制作時からメディアに取り上げられ、国内外の映画祭で満席の上映を続けてきた本作が、待望の劇場での公開を果たす。監督は、自身もろう者である今井ミカ。さらに演じる役者陣もろう者が集められた。ろう者 × セクシュアル・マイノリティ × 地方都市という、いくつもの生きにくい環境が重なる中で悩み生きる若者の姿を、優しくドラマチックに描いている。今までは、ろう者を題材に音のない作品を撮り続けてきた監督が、本作で初めて音響をつけた作品製作に取り組み、聴者へ向けても熱いメッセージを送っている。



主演は、演技経験の無いろう者の長井恵里と小林遥を抜擢。レズビアンカップルという難しい役どころにも、普段から手話でコミュニケーションを取るふたりは、生き活きた顔の豊かな表情やフレッシュで圧倒的な演技で魅せる。ゲイであることに孤独に悩む少年が、自分のセクシュアリティを受け入れていく青年へ成長する姿を幅広い演技力で見せた玉田宙の魅力にも大注目だ。

監督・脚本・編集：今井ミカ | 撮影：湯越慶太 | 音楽：門傳一彦
出演：長井恵里 小林遥 玉田宙 佐藤有菜 ノゾム 菊川れん 高木里華 太田辰郎 ほか
提供：シュアール | 企画・制作：JSLTIME
配給・宣伝：フィルモット — filmott — (村井卓実)
宣伝デザイン：ドラゴンフライ(古川健 野田義貴)
2018 | 日本 | 63分 | 16:9 | カラー | 手話・日本語字幕 | 英題：Until Rainbow Dawn
©2018 JSLTime
nijiasa.com



ミニ講演 モンキー高野氏 + 蕨市上映会 **7月30日(日)** 講演・上映13:30~ (受付開始13:00)

【会場】蕨市立文化ホールくるる (3階多目的ホール) ※御来場の際は、公共交通機関をご利用下さい
【チケット】大人 1,500円 中高生 400円 小学生以下 無料 【共催】蕨市聴覚障害者協会・蕨手話サークル
【問い合わせ】warabi730D.S@outlook.jp